

質 問 者 阿 部 律 子

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 乾式貯蔵施設には同意しないで	東北電力は乾式貯蔵施設について、「一時的な保管施設」としてはいますが、搬出先も搬出時期も明示がなく、事実上の最終処分場になりかねず、とても認めることはできません。
	市民団体は5月16日、町長に対して「女川原発敷地内に使用済み燃料の乾式貯蔵施設を設置する計画に同意しないことを求める陳情署名」第2次分を提出。第1次分（3月17日）と累計で3538筆のうち、町内分は803筆に達しています。また、5月15日までに賛同する旨の団体署名は473団体にもなっています。
	（1）東北電力との女川原発周辺の安全確保に関する協定書に基づくならば、事前了解の申し入れに回答する前に「使用済み燃料の敷地外への搬出」を保障する約束を求め、それを盛り込んだ新たな協定締結を行うべきではありませんか。
	（2）日本学術会議の高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会が2015年4月24日「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言－国民的合意形成に向けた暫定保管」という提言を発表しています。

質 問 者 阿 部 律 子

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	「負担の公平」を図る観点から、原発立地点
	は使用済み燃料を始めとした高レベル放射性廃
	棄物を暫定保管する候補地からは除外すべきだ
	と提案しています。この提案に関わる町長の見
	解を伺います。
	(3) 女川原発2号機の再稼働に「地元同意」を与
	えたときは、原発の運転は「原則40年まで」で
	した。乾式貯蔵施設の設置計画は再稼働を繰り
	返すことができるようにするため、計画通り
	設置されれば、営業運転開始から40年超の老朽
	化後まで運転期間延長が可能になります。事故
	の危険を増やす老朽化後の運転はすべきではな
	いと思いますが、町長の考えを伺います。
	(質問の相手：町長、担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 住民に寄り添った町民バスに	出島大橋開通により、3月31日から町民バス「出島線」が新設され利用されています。
	運行開始から2カ月程度になり、利用についてのさまざまな声が聞こえているかと思います。
	また、五部浦線や北浦線、安住・針浜線などの夕方の便は利用者が全くいない日もあり、空便を走らせているという声も聞かれます。
	(1) 「出島線」寺間集会所前から女川町地域医療センター前行き1便・2便は女川からの回送バスとなっていますが、出発を女川発にすることで回送バスではない形にして乗降可能にしてほしいと出島出身の町内在住の方から声が聞かれました。改善を検討してはどうですか。
	(2) 夕方で女川駅前からの利用客がない場合、空便で走らせることが多いとのことですが、工夫が必要ではないですか。
	(3) バス停から遠い針浜地区の方から「高齢になり長く歩くのも大変」「荷物が多く家の近くで降ろしてほしい」等、フリー乗降を望む声が多く聞かれます。ぜひ、改善策の検討を。
	(質問の相手：町長、担当課長)

質 問 者 阿 部 律 子

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 特別障害者手当の周知徹底を	以前にも一般質問で取り上げましたが、まだまだ
	周知は不十分と感じています。
	月29,590円（令和7年4月）支給される「特別障
	害者手当」は国の制度であり、介護保険の要介護認
	定4・5の高齢者が受け取れる可能性があります。
	厚生労働省が出している5つの認定基準を満たせ
	ば対象になるとのことです。私の知人がケアマネー
	ジャーに尋ねたところ、そんな制度はないと言われ
	たそうです。
	（1）要介護認定4・5の方のうち、主に在宅で介
	護を受けている人数と、その中で特別障害者手
	当を受けている方はいますか。
	（2）制度の周知は十分ですか。
	（3）医師の認定診断書については、担当課やケア
	マネージャーなどのアドバイスや連携を密にす
	べきと思いますが。
	（質問の相手：町長、担当課長）